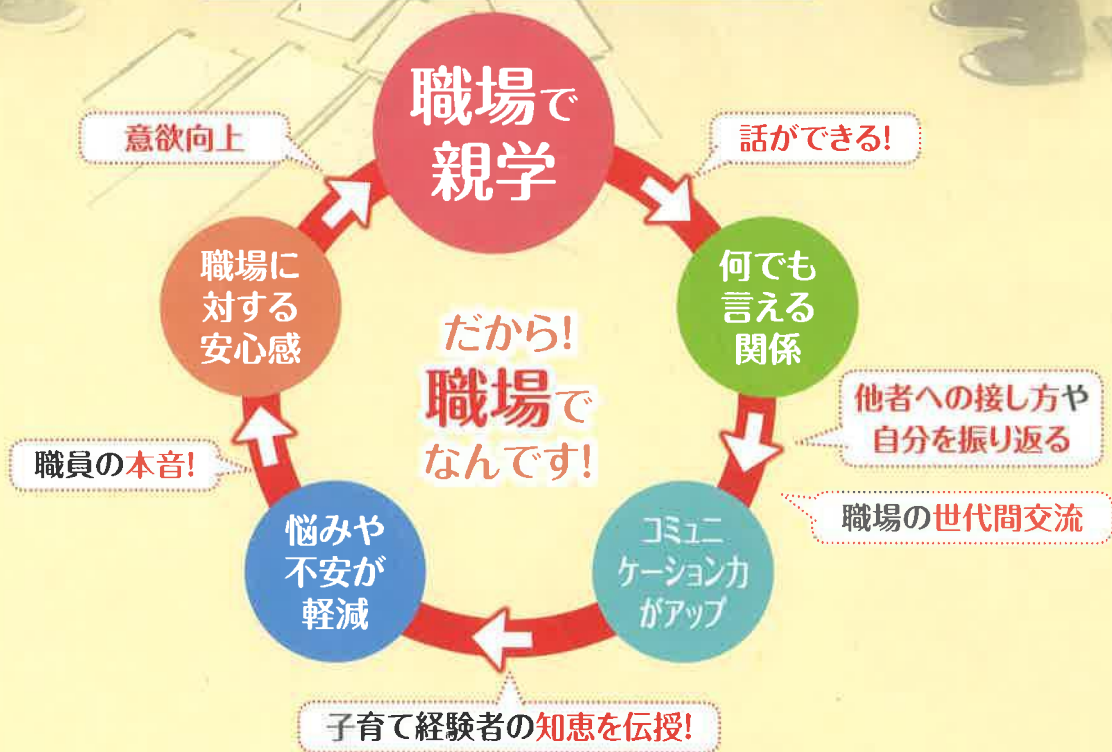


出前講座

職場で親学!!

家庭の“あんしん”こそ、職場の“えがお”!!
従業員の“げんき”こそ、職場の“かつりよく”!!

なぜ？職場で親学？



家庭の安心こそ、 職場の活力!

職員の元気!

職員が自分や子育てを振り返り、
他の人と関わる楽しさを感じられる時間をつくってみませんか?

あなたの
職場に
親学ファシリテーター
を派遣します!

無料

企業等と連携した「職場で親学!!」モデル事業とは?

「親学プログラム」を使った企業等での集まりや研修を実施
する際、**親学ファシリテーター(進行役)**を派遣する事業です。

親学 プログラム とは

- 参加者同士が交流しながら、「親としての役割」や「子どもとのかかわり方」について、「互いに」「楽しく」「体験的に」学ぶことができます。
- 子育てについて「そうそう、そうだよね!」、「うちはこうだよ」など気軽に語り合うことで、**不安や悩みの軽減・解消や、参加者同士の関係づくりに役立ちます。**

親学 プログラムの 進行

- 「親学ファシリテーター養成講座」を修了した「**親学ファシリテーター**」が進行します。
- 参加者がリラックスして話ができるように、**雰囲気づくり**などにも配慮しながら、「親学プログラム」を進めます。



親学 プログラムの 流れ

- アイスブレイク（簡単なゲームなど）で場を和ませ、互いに活動しやすい雰囲気をつくりだします。
- まず個人で考え、そのあとにグループで共同作業・意見交換をします。
- 意見交換後、気づいたことや考えたことを振り返り、分かち合います。

参加者の感想より

自分の子ども以外の子どもに対して、大人としての役割があると感じました。

色々な人と話をするのは、いいことだと思いました。

様々な考えの人と語り合うことで考えを深めることができました。

あたたかい、安心した関係と時間が大切だと思いました。



親学プログラム

7つのテーマ26プログラムで構成

1 親としての心構え

- ①新米ママ・パパへのメッセージ
- ②あなたならどうする？
- ③子どもに示したい大人のふるまい
- ④素晴らしき思春期

2 親子のコミュニケーション

- ①聞く耳ってどんな耳？
- ②子どもに伝えるのって難しい！
- ③私のほめ方・しかり方
- ④心に響く伝え方

3 生活リズム

- ①目指せ！早寝・早起き・朝ご飯
- ②朝食は目覚めのスイッチ



4 しつけとルール

- ①親のしつけは子どもへの大切な贈り物
- ②我が家のルールづくり大作戦！
- ③しかる基準は？
- ④誰が決めるの？
- ⑤子どもにとってのお手伝い
- ⑥子どもに本当に必要ですか？
- ⑦家庭学習の習慣をつけるために
- ⑧ケータイ・インターネットとのつきあい方

5 安全と健康

- ①身近なところに危険がいっぱい
- ②危険個所を考えよう
- ③食生活を見直そう



6 遊びと体験

- ①あそびのススメ
- ②子どもにさせたい体験は？

7 個性と夢

- ①もし、子どもが〇〇で育ったら
- ②こんな子どもに育ててほしい
- ③わが子のPR～短所も長所～

親学プログラム2

4つのテーマ20プログラムで構成

1 様々なつながりをつくる

- ①みんなでつながろう（親子一緒に）
- ②自分再発見！
- ③あったか言葉が宝物
- ④先生といっしょに
- ⑤みんなで子育て



2 親の社会的役割について考える

- ①こんな時、どうする？
- ②“オトナ”の役割を考える
- ③〇〇地区の子どもたちに示したい大人のふるまい
- ④〇〇地区の子どもは、こんな子どもに育ててほしい
- ⑤幸せってなんだろう

3 いじめ防止について考える

- ①われわれ大人にできること
- ②いじめがおきない環境づくりのために
- ③SOSを見逃さない
- ④ネットいじめから子どもを守る
- ⑤もし、いじめがおこったら…

4 児童虐待予防について考える

- ①すてきな子育て
- ②子どもに届けよう、あなたの思い
- ③こんな時、わたしなら…
- ④子どもの笑顔と未来のために
- ⑤「あたたかい眼差しを」
—虐待から子どもを守る—



平成27年度に実施された企業等



株式会社 長岡塗装店

参加人数／4人

参加者の感想

楽しく学びながら、親として子どもとの接し方を改めて考えさせられた。



株式会社 ワコムアイティ

参加人数／18人

研修担当者の感想

コミュニケーションの取り方を考えるいい機会だった。普段あまり話をしない社員同士のコミュニケーションができた。



島根県 健康福祉部 青少年家庭課

参加人数／8人

参加者の感想

参加者に好評だったので、企画してよかった。次回は、親学プログラム2を体験する機会を設けたい。



アサヒ工業 株式会社

参加人数／14人

研修担当者の感想

伝えることの大切さを改めて感じることができた。楽しい雰囲気の中で学べてよかった。



参加者同士が
意見交換や共同作業を
ととして
交流できるのです。



松江少年鑑別所

参加人数／8人

参加者の感想

職員間で気持ちや考えを聞いたり、話したりすることで、学ぶことができてもよかった。

それぞれのプログラムで、カードやラベルを用いたワークなど、さまざまな手法を使って、交流や話し合いが進むように工夫されています。

他の人の意見を聞いて、新たなことに気づいたり考えたりすることができる、大人の学びの場となります。

シリーズ化して実施することもできます。ぜひ、一度、取り入れてみませんか？

講座実施のながれ

講座開催の
申込書
を提出

担当者と
日時・内容等を
相談・決定

講座開催
市町村より
「親学ファシリテーター」
を派遣

終了後、報告書をHPよりダウンロードし、
電子メールまたはFAXにより提出

HPアドレス

<http://www.pref.shimane.lg.jp/shakaikyoiku/>

講座修了後には、県教育委員会のHPに講座の様子を掲載。

企業等が積極的に家庭教育を支援する姿勢を広く県内外にアピールできます。

まずはお問い合わせを
お問い合わせ先

島根県教育庁社会教育課 TEL 0852-22-5428

FAX 0852-22-6218 E-mail:shakaikyoiku@pref.shimane.lg.jp